

教科「公民」

科目「政治・経済」

(3年次文型、地理Bとの選択)

単位数	2単位
担当者	本間 由紀
教科書	改訂版 政治・経済(第一学習社)
副教材等	政治・経済資料 2019(とうほう)

【1】科目の目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて理解し、それらに関する諸課題とその解決策について主体的に考察する。

【2】科目の内容と進め方

- 1 学期：現代の政治、現代社会の諸課題（日本、国際社会）
- 2 学期：現代の経済、現代社会の諸課題（日本、国際社会）
- 3 学期：現代の政治、現代の経済、現代社会の諸課題（まとめ）

【3】学習形態

教室で授業を行う。一斉、グループ、ペア、個人など様々な学習形態で学ぶ。

【4】学習上の留意点

「政治・経済」では、授業で学習したことを用いて、日本や国際社会で生じている政治や経済に関わる諸課題について理解し、その解決策を追求していくことが大切である。予習や復習では、教科書やワークノート等を使って学習内容を確認する。

【5】評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

- 1 関心・意欲・態度：政治や経済についての理論等を手がかりとして、日本や国際社会で生起している諸課題を理解し、望ましい社会の在り方を追求できたか。また、新聞・ニュース・書籍等を通じて、社会科学的事象への興味関心を高めることができたか。
- 2 思考・判断・表現：日本や国際社会で生起している諸課題の解決策を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できたか。
- 3 資料活用の技能：考察に必要な各種統計、図表、グラフなどを収集し、情報を適切に取捨選択し、効果的に活用することができたか。
- 4 知識・理解：政治や経済に関わる理論等を正しく理解し、身につけることができたか。

② 評価の方法

- ・ 授業での学習活動の様子、学習活動シート（ふり返りを含む）、演習課題への取り組み状況から、主体的に学習しようとする態度を評価する。
- ・ 定期考査等から、社会科学的思想力、政治や経済に関わる理論等の理解、諸資料の読解力等を評価する。

【6】その他

なし